

架け橋プロジェクト実現事例 wakoshi 和光市

1 [笹目通り] 吹上観音交差点付近の水しぶき対策
下新倉小学校の児童が、大型車の跳ねた水しぶきで濡れてしまう事態がありました。そこで集水溝(グレーチング)を新設し、水溜まりの発生を防ぐことにしました。

2 [笹目通り] 吹上観音交差点の草刈り
歩道沿いの雑草が歩道まで伸びていました。草刈りをすると共に、雑草防止シートを設置しました。

3 新倉線緑の側溝の蓋の改善
北原小学校に続く駅北口の県道について、歩行環境を良くするために側溝の蓋を歩きやすく改善しました。(反対側も今後交換する予定です。)

4 和光市駅北交差点の朝霞方面への円滑化
いなげや方面から朝霞方面への右折車が連続と渋滞が発生します。そこで歩行者信号が赤になってからも約5秒間、車の青信号時間を延ばし、右折しやすいように改善しました。(現在、「右折矢印信号の設置」や「時差式信号」の設置を目指して鋭意交渉中です。)

5 浅久保通りの横断歩道
通勤・通学で多くの方が利用する横断歩道です。摩耗で薄くなった箇所を引き直しました。

6 外環側道の渋滞対策
以前から渋滞が発生しており、県警と対策を検討してきました。
(1) まずは国道254号線に新設した「ドームカメラ」で、川越街道と外環側道の交通量分析を行いました。
(2) その上で、理化学研究所西門・中央北・和光農協前の信号が同時に「青」に点灯するように改善し、車の流れが途切れないように改善しました。今後も更なる対策を続けます。

報告A

バーディーゴルフ付近の歩道が拡幅されました

地権者の方の協力により、歩道拡幅が実現しました。信号待ちの際の安全も高まりました。



報告B

県営和光樹林公園の再生計画について

現在、使用禁止となっている「あずまや」の工事が進められています。また、樹林公園全体の再生については、「樹木管理計画」を立てて維持管理していきます。
<短期的> 樹齢などを原因とした「枯損木」については伐採・伐根を行う。桜の密生地については適正規模の植樹も行。
<中・長期的> 樹木を「ゾーン分け」して管理を行う。桜の密生地も植樹を進める。



県政・市政情報 コンシェルジュ

荒川下水道流域の「浸入水」対策

県の下水道局では、和光市を含む荒川右岸流域について、大雨時に雨水が下水管に流れ込む「浸入水」対策を進めます。「県による溢水エリアの絞り込み」と「市による原因・箇所特定」を合わせて行い、マンホールから水が溢れ出ないようにします。



平成28年度 川越市内溢水状況

和光市役所入口に「アスリート支援自販機」設置

和光市役所前に、ライフル射撃をデザインした「オリンピック支援自販機」が設置されました。この自販機で購入すると、1本当たり数円程度がアスリート強化支援のために寄付されます。ドリンク購入時は是非ご利用ください!



ホームページもご覧ください!

井上わたる 検索

http://inouewataru.com/ スマホ版サイトもあります!

twitter や facebook も活用中!

※このチラシは多くの方の協力によって配布しておりますが、投函を希望されない方は右記事務所までご住所・お名前をお知らせくださいますようお願い致します。

発行・連絡先：埼玉県議会議員 井上わたる事務所
(埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡 503号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail:inoue_airline@yahoo.co.jp

埼玉県議会議員

38歳
無所属



井上わたるの

県政報告

配る ホームページ 第63号

あなたは 156万8765番目の読者です。

前号までにお届けした枚数です。

無所属 県民会議
SAITAMA

皆さま、こんにちは。この夏は大阪北部地震、西日本豪雨、台風、そして災害とも言える猛暑と、全国で厳しい自然災害が発生しました。心からご冥福とお見舞いを申し上げます。私の政治の原点は15歳の時に経験した阪神淡路大震災です。その経験から「人の暮らし・命を守るために政治はある」と胸に刻み、議員活動を続けています。



一般質問で提案・提言



6月定例会では今任期の集大成となる「一般質問」を行いました。なかでも特に力を注いだのが「児童虐待防止対策の強化」です。

東京・目黒区で5歳の児童が「もうおねがい ゆるして」とメモを残し虐待を受けて死亡した事件は世間に大きな衝撃を与えました。埼玉県で同様の事件が発生しないよう、「児童相談所と埼玉県警の虐待情報の全件共有」について提言・提案しました。知事からは「8月1日から共有を開始する」「児童相談所と警察署がそれぞれアクセス出来る新たな情報管理システム(データベース)で共有する」という方針が示され、質問翌日(6月26日)の新聞各紙に取り上げられました。



東京新聞

埼玉新聞

▼毎日新聞

児童虐待情報を県警と全件共有 県、8月1日から
上田清司知事は25日の県議会本会議で、児童相談所に情報が寄せられた虐待が疑われる全ての事案について、8月1日から県警と情報共有を始めること明らかにした。井上議員は「児童の氏名、住所、生年月日といった情報を県共有し、県警が捜査に当たっている場合に、迅速に情報共有できるようにしてほしい」と訴えている。(内田幸二)



▲読売新聞



9月定例会は9月20日(木)～10月12日(金)で開会予定です



社会の問題点を

解決する!

発言を「政策」に変える!

今回の一般質問では県政全般に資する質問を行い、ほぼ全ての質問で和光に関する視点を取り入れました。質問作成に当たり多くの方からヒントをいただきました。この質問を通して県が一層取り組むように今後もしっかり進捗を見届けます!

- 1 上田知事の全国知事会会長就任について
- 2 「協創イノベーションの推進」と「研究者のアクティブシニアの活躍支援」について
- 3 危機管理に求められる「組織・権限・能力」について
- 4 児童虐待防止対策の強化について
- 5 社会のルールを見つめ直す
(1)「歩きスマホ対策」の推進について
(2) エスカレーターの歩行禁止について
- 6 学校における紫外線対策について
- 7 教職員の勤務管理について
- 8 全ての年齢が関われるオリンピック・パラリンピックの「おもてなし」を
- 9 地元問題について
(1) 国道254号和光富士見バイパスの進捗状況と都内方面への延伸について
(2) 和光市内の河川改修について

和光市にも多くいらっしゃる理化学研究所のOB・OGの更なる活躍の場を求めて質問しました。この質問については翌日(6月26日)の埼玉新聞に取り上げられました。



和光市が自衛隊OBを「危機対策幹」として採用し、組織としての危機管理能力向上に務めている事例を踏まえて質問。県から答弁では「職員研修の充実」について今後、防災担当職員以外へも防災研修の参加を呼び掛ける新方針が示されました

(1)「歩きスマホ対策」の推進について
会派「無所属県民会議」ではプロジェクトチームを作って「(仮称)歩きスマホをなくす条例」の骨子案を作りました。それを踏まえ、県に①条例制定に関する考え方 ②今後の取組を質問しました。執行部からは「歩きスマホの規制には条例制定は効果的、但し他の注意散漫行為との兼ね合いも検討が必要。条例制定の必要性について研究をしていく。」また、「国への歩きスマホ防止対策での協力要請や、ネットアドバイザー等による周知喚起に取り組む」との答弁がありました。

(2) エスカレーターの歩行禁止について
一般質問を踏まえ、8月以降エスカレーターを設置している機関に対して「安全利用」を要請すると共に、歩行禁止の取組状況や利用実態アンケートなどを行い、安全な利用を促す。

千葉県が日焼け止めクリーム利用OKの通知を出したことを踏まえ、快晴日数全国一の埼玉県でこそ紫外線対策を進めるべきと提言。今まで校長先生向けだった紫外線対策に関する通知を一般教諭や養護教員向けにも広げていく等、正しい知識の普及・啓発が進むこととなりました。

2月定例会 予算特別委員会で自民党県議団がタイムカード導入予算を凍結。これに対し、私は「働き方改革・労働時間の可視化のためにも導入すべき」という立場で議論を行いました。 2018年7月7日 朝日新聞

県が募集する「都市ボランティア(※本年9月30日まで募集中)」は18歳以上が要件です。そのため18歳未満の高校生にもオリパラへ積極的に関わられるよう求めました。県教育委員会も地域と協力して多くの生徒が関わられるよう支援していく旨の答弁がありました。

(1) 国道254号和光富士見バイパスの進捗状況と都内方面への延伸について
和光市にとって、地域活力の向上に寄与し、且つ市内への通過交通が流入している現状の打開する意味も254バイパスの延伸の必要性を求め、県としても、国や東京都との関係機関との協議を進め、延伸の実現に向け、取り組んでいくとの回答がありました。

(2) 和光市内の河川改修について
県管理の越戸川と白子川の対応を進める上で欠かせない「新河岸川」の工事推進を求めました。



NEWS① 「ブロック塀の安全対策を求める要望書」提出

大阪北部地震で小学校のブロック塀が崩れ、児童1名が死亡した事故を受け、会派「無所属県民会議」では県立高校などの現地調査を行いました。その上で上田知事と教育長に対して「**学校施設及び県有施設におけるブロック塀等の安全対策を早急に進めることを求める要望書**」を提出しました。その後、県有施設や学校施設における対応は徐々に進み、上田知事が会長を務める「全国知事会」としても国に対し要望活動が行われました。



ブロック塀対策で要望書を受け取った上田知事は「優先順位も確認し、危険度の高いところからやっつけていく」といって「どうせやらないか」と思っていることを述べた。

ブロック塀の安全対策を早急に進めることを求める要望書が提出された。県民会議は、県立高校などの現地調査を行い、その上で上田知事と教育長に対して「学校施設及び県有施設におけるブロック塀等の安全対策を早急に進めることを求める要望書」を提出した。その後、県有施設や学校施設における対応は徐々に進み、上田知事が会長を務める「全国知事会」としても国に対し要望活動が行われた。

1 テレ玉ニュース 2 テレ玉ニュース 3 読売新聞 4 毎日新聞 5 産経新聞 6 埼玉新聞

NEWS② この夏全国No.1の気温41.1℃を記録した埼玉だからこそ!「更なる暑さ対策を求める要望書」提出

この夏の気象庁が「災害」と称する暑さを受け、県民会議では「多様な分野における更なる暑さ対策の推進を求める要望書」を上田知事に提出しました。

- 主要要望項目は
- 熱中症予防の啓発
 - 農産物・畜産物の高温障害対策
 - 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて選手・来訪者への暑さ対策
 - 県内における暑さの原因検証
 - 全国知事会による国への暑さ対策の要請
- です。秋にかけて引き続き暑さが続くと思われる。皆さまご注意ください。



NEWS③ 議会改革を求める請願第3弾を提出。自民党県議団らの後ろ向き姿勢はいつまで続く!?

県民会議が昨年9月定例会に提出した「**政務活動費の支出を証明する領収書のインターネット公開を求める請願**」は、6月定例会でまたしても「自民党県議団」と「改革の会」の主張で「継続審査」となりました。これで丸1年間、議論が先送りされたこととなります。この2会派に改革の意思はあるのでしょうか?!

また埼玉県議会において請願が「継続審査」や「反対」となった場合、ホームページにすら掲載されません。そこで、**議会改革請願の第3弾として「すべての請願を県議会ホームページに掲載することを求める請願」**の紹介議員となり、提出しました。しかし、これも自民党県議団らの反対で成立しませんでした。

議会自らが県民の負託に応え、議会改革を進めることが必要です。県民会議は諦めることなく「たたかう政策集団」として議会改革分野においても正論を話し続けてまいります。

たたかう政策集団

県議会政活費 依然進まぬ透明化

不正受給 ネット公開協議始まらず

元自民党議員が政務活動費の領収書公開を求め、不正受給が疑われる4定例会連続で継続審査に。議員の鈴木正人代表は「問題解決まで最大公約の自民党がネット公開でも政務活動費の領収書公開を向上させるための一歩として、ネット公開を推進する」と述べ、ネット公開を推進する。その中で、議員会は前に進んでいない。と指摘。公開の西山代表は「透明性を高めるために、ネット公開の向上に向けて、議員会は積極的に取り組むべき」と述べ、ネット公開を推進している。議員会は「透明性を高めるために、ネット公開の向上に向けて、議員会は積極的に取り組むべき」と述べ、ネット公開を推進している。

▲2018年8月3日 埼玉新聞